

令和8年8月23日

第56回 全関西実業団アイスホッケーリーグ戦

一次リーグ参加チーム代表者 各位

大阪府アイスホッケー連盟

会長 辻次良治

競技事業委員長 高倉浩一

実業団一次リーグに関するご案内

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本年10月～12月開催予定のトップリーグ戦及びゴールデンリーグ戦の一次リーグに関し、以下の如くご案内致します。

(二次リーグに関しましては、別途ご連絡差し上げます)

◆開催要項、競技規則の補足説明

- ・代表者会議：9/24 木曜 20時、Zoomで実施予定（招待リンクは、提出頂くメンバー表記載のメールアドレス宛に送ります）。
- ・試合日程：10/6 火曜～12/24 金曜、確定次第大阪府アイスホッケー連盟ホームページ掲載しますのでご確認ください。
- ・競技規則（規約）はトップリーグ及びゴールデンリーグ用の別紙に基づくもの（**今季からの改訂項目がご少なくなく、必ずご一読下さい**）。ネックガードは義務化されていますが、タイダウンストラップは義務ではなく、推奨とします。
- ・当番チーム：トップリーグは、競技規則8及び9に基づき『**当番チームはチーム登録者から、TAは6名、TB/TCは5名以上**が試合30分前に集合し、試合のラインズパーソン及びレフェリー、オフィシャル（本部要員）を務める』ゴールデンリーグも同様、競技規約8及び9に基づき、レフェリー1名及びオフィシャル（本部要員）を務めて頂きます。**当番チームより派遣頂くラインズパーソン及びレフェリーは、レフェリークリニック受講済、或いは連盟登録レフェリーに限ります（クリニック参加は周知の通り、リーグ戦の参加条件となっております）**。トップリーグの方はゲームシートの方も変更されます（トップ、ゴールデン共に当番チームが事前印刷したものに記入）。
- ・先シーズンは、懲罰/審議委員会で審議対象となる事案が数件起きております。選手、審判、互いに「フェアプレー＆リスペクト」の精神をもって試合に臨んでください。
- ・また、先シーズンは参加メンバー不足による棄権試合も少なくありませんでした。リーグ戦開始一か月前には全日程の発表を予定しておりますので、棄権試合が発生しない様に、ご協力願います。

◆参加料申込及び一次リーグ大会参加料について

- ・メンバー表及びユニフォーム写真の提出をもって参加申込とし、**参加選手は競技規則を共有し、規則に関する承諾を得たものと致します（提出期限：令和8年9月18日金曜）**

一次リーグの参加料のお振込みを以下期日までにお願い致します。締切日：令和8年9月18日（金）

トップリーグ	TA グループ	1 チーム	¥204,000 円	(7 チーム参加予定)
	TB グループ	1 チーム	¥238,000 円	(8 チーム参加予定)
	TC グループ	1 チーム	¥170,000 円	(6 チーム参加予定)
ゴールデンリーグ	GA グループ	1 チーム	¥120,000 円	(5 チーム参加予定)
	GB グループ	1 チーム	¥120,000 円	(5 チーム参加予定)

振込口座 三井住友銀行 粉浜支店 普通預金 口座番号 1561362

大阪府アイスホッケー連盟 会長 辻次 良治（ツジツグ ヨシハル）

メンバー表送及びユニフォーム写真の送付先：メール添付で送付をお願いします。

大阪府アイスホッケー連盟事務局 oihf.06@bg.wakwak.com

以上

第56回全関西実業団 トップリーグ大会 競技規則

理念：**フェアプレイファースト**にて日本トップレベルの試合を行い、アイスホッケーを通じスポーツの「楽しさ」と「おもしろさ」を発信し、人々に夢と感動を与える。

1. 参加資格：大会年度に日本アイスホッケー連盟に登録をされた、チーム、選手（及びスタッフ/役員）
2. 登録人数：役員/選手の登録人数は定めない。
3. 追加登録：大会期間中の役員・選手の追加登録は、大会本部が日本アイスホッケー連盟への登録確認次第、認めることとする。
4. 参加選手：社会人登録された役員・選手に限る。年齢は18才以上とする（本年4月1日時点）
5. 役員/選手はスポーツ安全保険等傷害保険に加入する事とする。
6. 競技規則：国際アイスホッケー連盟及び日本アイスホッケー連盟の競技規則を適用する。但し、次に掲げる規則をローカル規則として追加する。
 - ・競技時間は各ピリオド正味15分、練習5分、インターバル3分とする。
 - 但し、競技時間が残っていても、会場の貸し切り時間終了2分前で競技は終了し、試合成立とする。
 - ・**10点差以上がついた時点で『ランニングタイム制度』を採用する。但しペナルティーの際は時計を止める（ゴールの際には止めない、9点差に戻っても引続きランニングタイム）。大差の試合における集中力低下や怪我の懸念、審判員及び両チーム選手の安全及び健康状態を考慮するものです。**
 - ・タイムアウトは設けない。
 - ・役員及び選手の競技出場者はゴールキーパー（以下GK）1名以上2名以内を含め22名以内とし、役員のベンチ入りは、6名以内とする。
 - ・試合当日は、オールメンバー表を試合開始30分前までに本部に提出する。
 - ・GKがプレーできなくなった場合はベンチプレーヤーが交代する事ができる。その場合、GKの装備着用10分間の準備時間を与える。（プレーヤースケート可）
 - ・交代する選手がいない場合は棄権試合（スコアは0対15）とする。
7. **ネックガードは義務化されており、タイダウンストラップは義務化しませんが、推奨します。**
8. **競技審判：今季より以下改訂**

TA：連盟より派遣するレフェリー1名。当番チームから派遣頂くラインズパーソンは、当番チームがレフェリークリニックを受講済として登録された2名を派遣頂きます。

TB及びTC：試合は2審制で実施。連盟より派遣するレフェリー1名、1名のレフェリーは当番チームからの派遣（同じくレフェリークリニック受講済として要登録）。
9. **当番チーム：今季より以下改訂**

チーム登録者から30分前に集合し、試合のレフェリー（TB/TCは1名）、ラインズパーソン（TA2名）に加え、4以上名のオフィシャル（本部要員）を務める（よって当番人員数は、TAは合計6名以上、TB/TCは合計5名以上になります）

 - 1) **本部要員4名とし、ゴールジャッジは配置しない。**
 - 2) 試合開始及び終了時の準備・片付けは本部、リンク側の指示により行う。
 - 3) 氷上のゴール設営は、必ずスケート靴を履き準備をする。
 - 4) ペナルティベンチ係は、ショット数の記録を兼ねる。
 - 5) **1名はゲームシート記録を行う（メンバー表が印刷されたものが会場に事前に配布されています）**
 - 6) **完成したゲームシートは試合終了後、大会本部に報告を行う（写メをLINEグループで共有）。**
10. 競技審判及び当番チームが、交通事情などでの遅れ等の事情にて、会場へ行かれなくなった場合は、参加者が協力し合い試合成立を目指す。チーム関係者は感染病対策など会場規則を遵守し参加する。
11. ペナルティで試合退場を課せられた選手は、懲戒委員会の判断が下される迄、出場停止処分となる。
12. 試合を棄権するチームは、試合日の前日までに大会事務局まで連絡をする。
 - ・試合を棄権するチームは不戦敗（スコアは0対15）とする。
 - ・**棄権したチームは、対戦相手へチームペナルティとして1試合分の参加費を支払う罰則金の対象になる。但し、対戦両チームの合意のもと、前述罰則金の回避も可能（集まる人数だけで練習/親善試合で中止となった試合枠を活用する場合等、但しその際、連盟派遣レフェリーは致しません）。**

13. 成績：勝ちチームは、勝点2点、負けチーム0点、引き分けの時は両者1点とする。
順位決定：以下の順で決定する。
 - 1) 勝点合計の多いチームが上位
 - 2) 勝点同数の時は、総得失点差の多いチームが上位
 - 3) なお同点数の場合は、当該チーム間の得失点差が多いチームが上位
 - 4) なお同点数の場合は、総ペナルティタイムの少ないチームが上位
 - 5) なお同点数の場合は、当該チーム間でのペナルティタイムの少ないチームが上位
 - 6) 試合途中で試合が成立しなかった場合のペナルティ時間は、全試合の延合計時間に入る
14. 各グループ入れ替え及び参加資格 各グループ1位チームは次大会で上位グループに昇格する権利を有す。
最下位チームは次大会で下位グループに降格とする。新加入チームは最下位グループに編入とする。但し空き枠がある場合とする。
15. 選手・役員等の移動及び本大会における事故、負傷、盗難等について、本連盟は一切の責任を負わない。各チームの責任で対処する。
16. 主催者は個人情報および肖像権に関して以下の様に取り扱う。
 - 1) 個人情報の保護に関する法律および関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。尚、参加申込書等より取得した個人情報は、大会の資格審査、競技結果（記録）発表、公式ホームページ、その他競技運営に必要な連絡等に利用する。
 - 2) 本大会はテレビ放送やインターネット上で動画配信を行うことがある。
 - 3) 大会の映像・写真・記事・競技結果（記録）等は、主催者および主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
 - 4) その他、主催者の許可に基づき、記念写真等が販売されることがある。
 - 5) 大会の映像・写真は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上へ画像や動画を配信することを含む）を禁止する。
17. 会場の設備・備品破損に関して以下の様に取り扱う。
設備・備品の破損が発生した場合は、速やかに大会本部に連絡すること。
氷上練習中や試合中の不可抗力による破損、通常の使用に伴う老朽化による破損は主催者と会場とで対処する。但し、故意（スケートエッジでボードを蹴った等）による破損は本項に該当しない。復元必要費用は当該チームが負担することとする。
 - 1) 故意による破損。
 - 2) 会場が禁止する行為による破損。（ロビーや更衣室でのスティックやパックを使った遊び等）
 - 3) 過度な悪ふざけ的な行為による破損。
 - 4) その他の破損。（主催者が禁止する行為による破損）
18. 不可抗力（濃霧や氷の悪状態など）による試合中止または続行の判断に関しては本部及びレフェリーが協議の上、決定する。当該チームは、決定事項に異議を申し出ることはいできない。
19. 日本アイスホッケー連盟選手登録番号の記載に関して
 - 1) 参加申込時の選手登録番号の記載を必須とする。
 - 2) 試合当日のメンバー表への記載を必須とする。（プログラム、メンバー表のコピー提出可。）
 - 3) 正当な理由がなく記載のない場合は、参加を認めない場合がある。
20. 本競技会の懲罰委員会
懲罰委員会は大会本部が認定する5名で構成する。
21. 新規加盟希望チームについて
新規加盟を希望するチームは大会本部に申請を行い、審査を経て加盟可否を決定する。
加盟が認められた場合、順位は最下位の対応からとする。「トップリーグ」、「ゴールデンリーグ」間の移動についても同様とする。
22. 参加申込
メンバー表及びユニフォーム写真の参加申込提出を持って、参加選手は競技規則を共有し、規則に関する承諾を得たものとする。

第56回全関西実業団 ゴールデンリーグ大会 競技規則

理念：生涯スポーツとしてアイスホッケーを楽しめるよう、ノーコンタクト（ボディチェック無し）規則とします。常にフェアプレーに徹し、相手選手のみならず、審判や競技スタッフ、観戦者など全ての方に対して「フェアプレー&リスペクト」の精神をもって、すべてのスポーツマンの目標となること。

1. 参加資格：大会年度に日本アイスホッケー連盟に登録をされた、チーム・役員・選手とする。
2. 登録人数：役員/選手の登録人数は定めない。
3. 追加登録：大会期間中の役員・選手の追加登録は、大会本部が日本アイスホッケー連盟への登録確認ができ次第、認める事とする。
4. 参加選手：社会人登録された役員・選手に限る。年齢は18才以上とする（本年4月1日時点）。
女子選手の参加を認める。女子チームに日ア連登録がある場合は、別途参加（実業団）チームでの日ア連登録は不要とする。*日ア連（日本アイスホッケー連盟）
5. 役員/選手はスポーツ安全保険等傷害保険に加入する事とする。
6. 競技規則：国際アイスホッケー連盟及び日本アイスホッケー連盟の競技規則を適用する。但し、次に掲げるオールドタイマー大会に準ずる規則をローカル規則として追加する。
 - ・オールドタイマー大会規則と同様に、ボディチェックング、スラップショットは禁止とし、違反した場合はマイナーペナルティが課せられる（スラップショットは動作だけでもペナルティの対象になる）。
 - ・アイシングの際の交代を認める。
 - ・ハイブリッドアイシングは採用しない（オートマチックアイシング）。
 - ・同一の試合で3回ペナルティを課せられた選手は、その試合の残り時間は試合退場となる。
 - ・3回ペナルティ以外のペナルティでゲームアウト（試合退場）を課せられた選手は、懲戒委員会の判断が下される迄、出場停止処分となる。
 - ・競技時間は各ピリオド正味15分、練習5分、インターバル3分とする。
但し、競技時間が残っていても、会場の貸し切り時間終了2分前で競技は終了し、試合成立とする。
 - ・10点差以上がついた時点で『ランニングタイム制度』を採用する。但しペナルティーの際は時計を止める（ゴールの際には止めない、9点差に戻っても引続きランニングタイム）。大差の試合における集中力低下や怪我の懸念、審判員及び両チーム選手の安全及び健康状態を考慮するものです。
 - ・タイムアウトは設けない。
 - ・役員及び選手の競技出場者はゴールキーパー（以下GK）1名以上2名以内を含め22名以内とし、役員のベンチ入りは、6名以内とする。
 - ・役試合当日は、オールメンバー表を試合開始30分前までに本部に提出する。
 - ・GKがプレーできなくなった場合はベンチプレーヤーが交代する事ができる。その場合、GKの装着着用に10分間の準備時間を与える（プレーヤースケート可）。
 - ・交代する選手がいない場合は棄権試合（スコアは0対15）とする。
7. ネックガードは義務化されており、タイダウンストラップは義務化しませんが、推奨します。
8. 競技審判：今季より以下改訂
試合は2審制で実施、連盟より派遣するレフェリーは1名、1名のレフェリーは当番チームからの派遣とする（同じくレフェリークリニック受講済として要登録）
9. 当番チーム：チーム登録者から試合開始時刻30分前に集合し（前述レフェリーに加え）4名以上が、試合のオフィシャル（本部要員）を務める（当番チームからの派遣は、レフェリーを含めて5名以上）。
 - 1) 本部要員4名とし、ゴールジャッジは配置しない。
 - 2) 試合開始及び終了時の準備・片付けは本部、リンク側の指示により行う。
 - 3) 氷上のゴール設営は、必ずスケート靴を履き準備をする。
 - 4) ペナルティベンチ係は、ショット数の記録を兼ねる。
 - 5) 1名はゲームシートの記録を行う（メンバー表が印刷されたものが会場に事前に配布されています）
 - 6) 完成したゲームシートは試合終了後、大会本部に報告を行う（写メをLINEグループで共有）。
10. 競技審判及び当番チームが、交通事情などでの遅れ等の事情にて、会場へ行かれなくなった場合は、参加者が協力し合い試合成立を目指す。チーム関係者は感染病対策など会場規則を遵守し参加する。

11. ペナルティで試合退場を課せられた選手は、懲戒委員会の判断が下される迄、出場停止処分となる。
12. 試合を棄権するチームは、試合日の前日までに大会事務局まで連絡をする。
試合を棄権するチームは不戦敗（スコアは0対15）とする。
棄権したチームは、対戦相手へチームペナルティとして1試合分の参加費を支払う罰則金の対象になる。但し、対戦両チームの合意のもと、前述罰則金の回避も可能（集まる人数だけで練習/親善試合で中止となった試合枠を活用する場合等、但しその際、連盟派遣レフェリーは致しません）。
13. 成績：勝ちチームは、勝点2点、負けチーム0点、引き分けの時は両者点とする。
順位決定：以下の順で決定する。
 - 1) 勝点合計の多いチームが上位
 - 2) 勝点同数の時は、総得失点差の多いチームが上位
 - 3) なお同点数の場合は、当該チーム間の得失点差が多いチームが上位
 - 4) なお同点数の場合は、総ペナルティタイムの少ないチームが上位
 - 5) なお同点数の場合は、当該チーム間でのペナルティタイムの少ないチームが上位
 - 6) 試合途中で試合が成立しなかった場合のペナルティ時間は、全試合の延合計時間に入る
14. 各グループ入れ替え及び参加資格：GB グループ1位チームは次大会でGA グループに昇格する権利を有す。GA グループ最下位チームは次大会で下位グループ降格対象となる。新加入チームはGB グループに編入する。
15. 選手・役員等の移動及び本大会における事故、負傷、盗難等について、本連盟は一切の責任を負わない。各チームの責任で対処する。
16. 主催者は個人情報および肖像権に関して以下の様に取り扱う。
 - 1) 個人情報の保護に関する法律および関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。尚、参加申込書等より取得した個人情報は大会の資格審査、競技結果（記録）発表、公式ホームページ、その他競技運営に必要な連絡等に利用する。
 - 2) 本大会はテレビ放送やインターネット上で動画配信を行うことがある。
 - 3) 大会の映像・写真・記事・競技結果（記録）等は、主催者および主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
 - 4) その他、主催者の許可に基づき記念写真等が販売されることがある。
 - 5) 大会の映像・写真は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上へ画像や動画を配信することを含む）を禁止する。
17. 会場の設備・備品破損に関して以下の様に取り扱う。
設備・備品の破損が発生した場合は、速やかに大会本部に連絡すること。
氷上練習中や試合中の不可抗力による破損、通常の使用に伴う老朽化による破損は主催者と会場とで対処する。但し、故意（スケートエッジでボードを蹴った等）による破損は本項に該当しない。復元に必要な費用は当該チームが負担することとする。
 - 1) 故意による破損。
 - 2) 会場が禁止する行為による破損。（ロビーや更衣室でのスティックやパックを使った遊び等）
 - 3) 過度な悪ふざけ的な行為による破損。
 - 4) その他の破損。（主催者が禁止する行為による破損）
18. 不可抗力（濃霧や氷の悪状態など）による試合中止または続行の判断に関しては本部及びレフェリーが協議の上、決定する。当該チームは、決定事項に異議を申し出ることはできない。
19. 日本アイスホッケー連盟選手登録番号の記載に関して
 - 1) 参加申込時の選手登録番号の記載を必須とする。
 - 2) 試合当日のメンバー表への記載を必須とする。（プログラム、メンバー表のコピー提出可。）
 - 3) 正当な理由がなく記載のない場合は、参加を認めない場合がある。
20. 本競技会の懲罰委員会
懲罰委員会は大会本部が認定する5名で構成する。
21. 新規加盟希望チームについて
新規加盟を希望するチームは大会本部に申請を行い審査を経て加盟可否を決定する。加盟が認められた場合、順位は最下位の対応からとする。「ゴールデンリーグ」、「トップリーグ」間の移動についても同様とする。
22. 参加申込
メンバー表及びユニフォーム写真の参加申込提出を持って、参加選手は競技規則を共有し、規則に関する承諾を得たものとする。